

Title	渡部直樹教授略歴および主要研究業績
Sub Title	The chronology and the list of writings of professor Naoki Watanabe
Author	
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2015
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.58, No.2 (2015. 6) ,p.345- 347
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	渡部直樹教授退任記念号
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20150600-0345">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20150600-0345</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 渡部直樹教授

## 略歴および主要研究業績

### I. 履歴

#### 1) 学歴

- 1972年3月 慶應義塾大学商学部卒業  
 1974年3月 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了  
 1977年3月 慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得修了

#### 2) 職歴

- 1975年4月～1982年3月 慶應義塾大学商学部助手  
 1982年4月～1992年3月 慶應義塾大学商学部助教授  
 1992年4月～2014年3月 慶應義塾大学商学部教授・同大学院商学研究科委員  
 1995年10月～1997年9月 慶應義塾大学学生総合センター副部長  
 2005年10月～2009年6月 慶應義塾大学就職部長  
 2009年6月～現在 慶應義塾常任理事

#### (海外歴)

- 1984年9月～1986年8月 ケンブリッジ大学訪問研究員, ロンドン・スクール・オブ・エコノミックス (LSE) 訪問研究員  
 1993年4月～1994年3月 ロンドン・スクール・オブ・エコノミックス (LSE) 訪問教授  
 1999年7月～1999年9月 ニュー・サウス・ウェールズ大学 (豪州) 客員教授  
 2003年10月～2005年3月 南開大学 (中国) 客員研究員

#### (学会活動)

- 1990年7月～現在 日本ポパー哲学研究学会事務局・幹事  
 2007年9月～2013年8月 日本経営学会理事  
 2008年1月～2010年12月 國際戦略経営研究学会理事  
 2008年10月～2011年9月 経営哲学学会常任理事・関東部会長  
 2011年10月～2014年9月 経営哲学学会会長

## (社会活動)

1989年10月～2005年9月	LSE ソサエティー・ジャパン事務局長
1998年3月～2003年8月	日本育英会運営委員
2004年4月～2013年3月	財団法人伊勢丹奨学会評議員
2005年10月～2007年3月	社団法人日本私立大学連盟就職委員会副会長
2007年4月～2009年3月	社団法人日本私立大学連盟就職支援分科会会长
2007年4月～2009年4月	財団法人雇用情報センター理事
2007年4月～2010年3月	文部科学省就職問題懇談会委員
2009年4月～2010年3月	社団法人日本私立大学連盟学生委員会委員
2009年4月～2011年3月	文部科学省高等教育局中央教育審議会専門委員
2009年6月～2010年3月	独立行政法人日本学生支援機構委員
2010年4月～2014年3月	社団法人日本私立大学連盟財務人事理事者会議幹事
2011年4月～現在	社団法人日本私立大学連盟経営委員会委員

## II. 主要研究業績

## (著書)

- 『マーケティング研究の方法論』(共著) 中央経済社, 1991年  
 『ステークホルダーの経営学——開かれた社会の到来——』(共著) 中央経済社, 2009年  
 『ケイパビリティの組織論・戦略論』(編著) 中央経済社, 2010年  
 『経営哲学の授業』(共著, 経営哲学学会編) PHP研究所, 2012年  
 『企業の知識理論——組織・戦略の研究——』(編著) 中央経済社, 2014年

## (論文)

- 「コンティンジェンシー・セオリー (Contingency Theory) の方法論的研究」『三田商学研究』20巻5号 (1977年12月), pp. 95-110.  
 「H. A. サイモン学説の方法論批判」『三田商学研究』23巻1号 (1980年4月), pp. 23-48.  
 「H. A. サイモンの意思決定論に対する科学的省察」『三田商学研究』23巻4号 (1980年10月), pp. 64-85.  
 「中範囲理論に対する科学的省察」『三田商学研究』23巻5号 (1980年12月), pp. 33-51.  
 「H. A. サイモンの方法論批判」『経営学論集』(日本経営学会) 53集 (1983年), pp. 230-237.  
 「企業行動についての2つのアプローチ——サイヤート＝ポッティンガー論文の検討と批判を通じて——」『三田商学研究』28巻特別号 (1986年4月), pp. 196-212.  
 "A Critical Study of H. A. Simon's Philosophy of the Social Sciences", *Keio Business Review*, Vol. 23 (1986), pp. 67-74.  
 「期待効用極大化原理の妥当性をめぐる問題——ハルシャーニ (J. Harsanyi) とワトキンス (J. Watkins) の論争を中心として——」『三田商学研究』31巻2号 (1988年6月), pp. 53-72.  
 「意思決定理論の哲学的基礎」堀田一善編著『マーケティング研究の方法論』中央経済社, 1991年, pp. 239-264.  
 「新制度主義アプローチの方法論的基礎に関する一考察——特に取引費用経済学と経済的行動主義との関連から——」『三田商学研究』34巻1号 (1991年4月), pp. 62-71.  
 「意思決定学派における問題状況について——限られた合理性の概念から組織選択のゴミ箱モデルまで——」『三田商学研究』34巻5号 (1991年12月), pp. 207-224.  
 「囚人のジレンマと道徳性」『三田商学研究』35巻1号 (1992年4月), pp. 67-77.  
 「現在のゲーム理論的諸研究の認識論的状況について——批判的合理主義の観点との関連から——」『Popper Letters』(日本ポパー哲学研究会) Vol. 10, No. 1 (1998年6月), p. 4.

- 「協調的関係に対するゲーム理論的接近について——企業をめぐる協調的関係の分析——」『三田商学研究』43巻1号（2000年4月），pp.143-170.
- 「2つの進化論と組織行動——ダーウィン主義とラマルク主義——」『三田商学研究』43巻特別号（2000年11月），pp.31-50.
- 「企業境界の進化」『国際商学院公司治理中心紀要』（南開大学国際商学院（中国・天津））2004年6月
- 「現代企業のスーパーモジュラー分析序説（I）」（共著）『三田商学研究』47巻4号（2004年10月），pp.61-79.
- 「現代企業のスーパーモジュラー分析序説（II）」（共著）『三田商学研究』47巻5号（2004年12月），pp.113-128.
- 「ゲーム理論の観点から見た経営学説史」『三田商学研究』48巻1号（2005年4月），pp.67-81.
- 「制度の進化の観点から見た企業再生——現代の企業の進化とスーパーモジュラー分析——」『経営学会論集』（日本経営学会）75集（2005年9月），pp.30-43.
- 「中国の改革開放政策と中国進出外国企業の経営戦略——TEDAにおける外国企業の分析を中心に——」（共著）『三田商学研究』48巻4号（2005年10月），pp.147-168.
- 「企業再生と補完性」（南開大学 中国国家自然科学基金委員会（中国・天津））2005年11月
- 「戦略と構造、そしてケイパビリティ——進化論の観点からの再構成——」『三田商学研究』49巻4号（2006年10月），pp.81-99.
- 「中国民営上場企業のコーポレート・ガバナンス——究極の所有者による実質支配とその問題点——」（共著）『三田商学研究』50巻1号（2007年4月），pp.173-192.
- 「ラングロアの「消え行く手（vanishing hand）」仮説の批判——ポスト・チャンドラー・エコノミーと歴史法則主義——」『三田商学研究』50巻3号（2007年8月），pp.57-81.
- 「生物の進化、制度、並びに科学的知識の進化——批判的合理主義の観点からの進化概念の再構成——」『三田商学研究』51巻4号（2008年10月），pp.25-41.
- 「間接単調性と痛みなき改革」（共著）『三田商学研究』52巻4号（2009年10月），pp.1-12.
- 「ケイパビリティ論の性格と意義」『三田商学研究』53巻2号（2010年6月），pp.83-100.
- 「経済危機をどう見るのが？——ジョージ・ソロス、ハイエク、ポパーの観点から——」『経営哲学』（経営哲学学会），7巻1号（2010年7月），pp.30-36.
- 「企業と知識」『三田商学研究』56巻6号（2014年2月），pp.171-185.
- 「経営哲学と経営哲学研究」『経営哲学』（経営哲学学会）11巻1号（2014年3月），pp.6-16.

#### （翻訳）

- 「産業民主主義とは何か」H.A.サイモン著『経済セミナー』（日本評論社）347号（1983年12月），pp.54-64.
- 『実証主義を超えて——20世紀経済科学方法論——』（監訳）B.J.コールドウェル著，中央経済社，1989年
- 『組織の経済学入門』（共訳）S.ダウマ & H.シュルーダー著，文眞堂，1994年
- 「カール・ポパー追悼」ワトキンス著『Popper Letters』（日本ポパー哲学研究会）1995年
- 「ダイナミック・ケイパビリティの解明」（共訳）デビッド・J.ティース著『ケイパビリティの組織論・戦略論』中央経済社，2010年